

alanが中国・四川大地震の被災者を支援

2008年5月12日、中華人民共和国中西部に位置する四川省でマグニチュード8.0の大地震が発生。死者が7万人、負傷者は37万人にのぼるなど、甚大な被害をもたらしました。こうした状況に対し、四川省出身の所属アーティストalanは、「私が一人の歌手として出来る事は、自分の歌声で被災者の皆様のことを

祈り、歌っていくことだと思っています。」という考えから、義援シングル「幸せの鐘」を発表し、同曲に係る全ての収益と同年7月に東京国際フォーラムで開催された中国・四川大地震のチャリティコンサート「ハートエイド四川」での収益を日本赤十字社通じ、被災者に届けられました。



近野成美が麻薬・覚せい剤乱用防止運動キャンペーンキャラクターに起用



麻薬等の薬物乱用は、人間の生命はもとより、社会や国の治安を脅かすなど、人類が抱える最も深刻な社会問題の一つとなっています。

昨今、わが国では薬物乱用に対する警戒心や抵抗感が薄れ、大学生による薬物所持・乱用事件が多発するなど、「第三次覚せい剤乱用期」とも形容される深刻な状況が続いています。

このような状況を早期に終息させるため、厚生労働省等が「ダメ。ゼッタイ。」をキーワードに薬物乱用防止運動を実施、当社所属タレントである近野成美が同キャンペーンのイメージキャラクターとして起用されました。近野は2008年11月29日に九段会館ホールで開催された同キャンペーンのイベントに参加し、同世代である若年層に向けて、薬物の肉体的・精神的依存性とその恐怖を訴えました。

「違法着うた®」根絶活動を実施

当社は社団法人日本レコード協会（以下、RIAJ）とともに、「違法サイトからダウンロードしない」「違法なアップロードをしない」を合言葉に、携帯向け違法音楽配信根絶に向け、携帯電話向けコンテンツのメインユーザーである若年層に向けた啓蒙活動に取り組んでまいりました。

本年度は、RIAJの特設サイトに横原敬之、TRF、EXILE、大塚 愛ら所属アーティストがビデオメッセージを寄せ、「違法配信の利用をや

めて未来の音楽を守ってほしい」と訴えました。

RIAJの調査によると、2008年の違法ダウンロード数は約4億曲と推計され、3年連続で正規の配信を上回る利用数となりました。当社は「創造のサイクル」が破壊されないよう、今後もRIAJと連携し、啓蒙活動を継続的に展開してまいります。



創造のサイクルとは

知的財産を生み出し、それを権利として活用し、その収益で次の新たな知的創造を生み出していくという仕組みです。正当な対価が支払われなくなると、権利者は音楽制作のための資金がなくなり、世の中に新たなコンテンツが生まれなくなります。



avex smile news 2009

avex smileとは「エンタテインメントを通じて、笑顔を創りたい」という思いから始まったエイベックスの新プロジェクトです。株主、ユーザー、取引先、従業員といったステークホルダーのみならず、あらゆる人々の笑顔を創り出せるよう、地域振興やエコロジー活動等、幅広い展開を行っていく予定です。

「エイベックスへ行こう!～勉強が遊びで遊びが勉強～」に体験型のプログラムを導入



昨今「総合的な学習」の一環として、研修旅行の際等に中高生が企業を訪問し、社会の仕組みや職業に関して学習するケースが増加しています。

当社ではこれまでも、中高生の職場訪問を積極的に受け入れ、エイベックス・グループの

事業や仕事内容の紹介を行ってきましたが、中高生の皆様から寄せられた「スタジオを見てみたい」、「アーティストに会いたい」といった要望に応えるべく、2008年より本社ビル内のレコーディングスタジオの見学や所属アーティストによるミニライブの実施といった体験型のプログラムを導入、訪問いただいた生徒の皆様からご好評をいただいております。

当社の職場訪問受け入れ活動は、多数のメディアに取り上げられたことや同プログラム専用のWebサイトが2007年にオープンしたこと等により、訪問生徒数が大幅に増加、2008年4月から2009年3月の間に訪問した生徒数は

1,900名を超え、過去最多人数となりました。今後も、音楽・映像業界の将来を担う中高生の皆様に「職業としてのエンタテインメント」の魅力を伝えられるよう、同プログラムのさらなる進化を目指していきます。

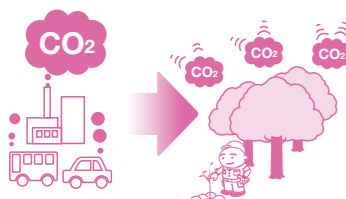


commonsの環境面に配慮した積極的な取り組み

COMMONS

カーボンオフセットとは

日常生活で必ず出てしまうCO₂（二酸化炭素）。これを吸収する木を育てることで、出してしまったCO₂（=カーボン）の埋め合わせ（=オフセット）をする取り組みのことです。



世界的に活躍するアーティスト坂本龍一氏が音楽の新たな可能性を模索すべく、当社グループとともに設立したレーベル「commons（以下、コモンズ）」では、一部の商品をカーボンオフセットCDとしてリリースしてまいりましたが、こうした取り組みをさらに推し進め、2008年6月より同レーベルよりリリースした全てのパッケージ商品をカーボンオフセットとしました。

また、環境に配慮する「グリーンレーベル」として立ち上がったコモンズの公式サイトで

は、数多くのアーティストやエンタテインメント業界関係者がエコロジーに関するコメントを発表しています。社会的影響力の強いアーティストやプロデューサー等が環境保全広報活動におけるインフルエンサーとなる意義は大きいと考えております（<http://www.commons.com/forgreen/>）。またコモンズでは、CDを収納するトレー部分に、土に返りやすいスウェーデンの樹木を原料にするなど、環境面に配慮した商品展開を行っています。

SEAMOらがHIV/エイズ予防啓発イベントに積極的に参加



わが国におけるHIV感染者・エイズ患者の新規報告数は、依然として増加傾向にあります。この危機的な状況に歯止めをかけるため、厚生労働省および財団法人エイズ予防財団主催のもとHIV/エイズの予防啓発を呼びかけるイベント「RED RIBBON LIVE 2008」が2008年11月29日SHIBUYA-AXにて開催され、当社所属アーティストの今井絵理子

（SPEED）、SEAMO、alanが参加、HIV/エイズ予防の訴求活動を行いました。

トークショーに参加した今井絵理子は「私自身、エイズで友人が亡くなったという経験があり、また障がいをもつ息子の親でもあるため、このような啓発活動に参加し、何かご協力ができればと思っています。」と話したのち、HIV/エイズの正しい情報を説明しました。



MONKEY MAJIKが横浜ゴム主催の地球温暖化撲滅チャリティイベントに出演

2008年7月26日、当社所属アーティストであるMONKEY MAJIKは、横浜ゴム主催の地球温暖化などの環境保護を訴えるチャリティライブイベント「2008 LIVE ecoMOTION driving by横浜ゴム」に参加しました。

会場では募金活動が行われ、集まった寄付金は地球温暖化対策に役立てられるようライブ収益金とともにWWF（世界自然保護基金）ジャパンに寄付しました。

なお、同ライブに係る全ての電力は、風力や地熱など自然エネルギーによって発電された「グリーン電力」を使用しました。



グリーン電力とは

風力、太陽光、バイオマス（生物資源）などの自然エネルギーにより発電された電力のことです。石油や石炭などの化石燃料による発電は、発電するときにCO₂が発生しますが、自然エネルギーによる発電

は発電するときにCO₂を発生しないと考えられています。また、再生可能であるため環境への負荷が小さいエネルギーです。

当社グループは少子化対策の一助となる「トツキトウカ YOKOHAMAプロジェクト」に参加



を通じて少子化対策のきっかけになればと思い、昨年に引き続き同プロジェクトに参加しました。

本年度は、トツキトウカ横浜実行委員会が主催する子育て応援イベント「トツキトウカ YOKOHAMA フェスタ2008」に積極的に協力。

同イベントでは当社の代表取締役副社長である千葉龍平が、開会のあいさつを務めるとともに、「妊婦が安心して出産し、育児できる環境作りを目指す」という同イベントの趣旨に賛同したmink、Mother Ninja、yoonji、木山



裕策がライブを通じ、子供が誕生する素晴らしさや喜びを伝えました。

「トツキトウカ YOKOHAMAプロジェクト」とは

赤ちゃんに贈る詩集「トツキトウカ」から生まれたママパパ赤ちゃん支援プロジェクトとして、「横浜で生まれた赤ちゃんはパパママから詩をもらう」というムーブメントを横浜市から発しようと、横浜市と民間企業が連携して昨年開始しました。